

# wacaf

感動空間 ♥ 文化で元気!!



春林軒（那賀町）

曼陀羅華（まんだらげ）の花を主成分とする麻酔薬をつくり、世界で初めて全身麻酔による乳ガンの手術を成功させた華岡青洲。「春林軒」は青洲の住宅兼診療所で医学校でもあった建物を復元したもの。内部は手術風景などを再現している

- イベントスケジュール
- エッセイ「限りなく故郷を愛する」前田朋子
- 劇団「華岡青洲」
- 公演レポート NHK公開録画  
「BS日本のうた」田川寿美さんと嶋三喜夫さんに聞く
- 県内外で幅広い活躍「コーラス・パレット」

Vol.2

2003.7

## 真夏の祭典「感動空間♥文化で元気!!」パワーはじける ビッグ「サマーフェスタ2003」

8/9  
(土)

13:00~20:00 (雨天決行、フリーマーケットは雨天中止)

和歌山ビッグホール

入場無料

恒例のビッグ「サマーフェスタ2003」は今年もホットでパワフルなイベントが満載。会場内に多彩な文化・芸術・体験イベントを設け、「心の元気」がみなぎる夏祭りです。

当日はFM802のDJでおなじみのマーキーをはじめ、津軽三味線奏者の木下伸市、歌手のWINDS(ウインズ)、雅也、なまず、プライムシャワー等多彩なメンバーをゲストに迎えるほか、和太鼓・ヒップホップ・フラダンス・フラメンコなどが舞台を演出します。

また、野外ステージではアマチュアバンド・50グループが全国大会を目指す『ティーンズミュージックフェスティバル2003』が開催されるほか、フリーマーケットやバザーブース・クラフト体験やアート展なども同時開催。夕暮れにはビッグホール全体をカラーライトアップしたサマーイルミネーションが夏の夜を美しく演出します。

玄関ロビーではWacaf(県文化振興財団)主催イベントのチケット販売などを行います  
【問い合わせ】073(436)331 Wacaf(和歌山県文化振興財団)

### ビッグホールサマーステージ

13:30開場、14:00~19:30 アリーナ

和歌山を代表する感動空間ビッグホールでのサマービッグコンサート! 司会はFM802ソニックスタイルのマーキー。

### 第17回ティーンズミュージックフェスティバル2003

13:00~19:00(予定) 野外ステージ

アマチュアバンド全国大会の和歌山予選! B-1グランプリ大会。若いエネルギーあふれる演奏が会場いっぱいに響きます。

### 夏休みクラフト体験コーナー

13:00~18:00 体験ブース

木工クラフトやストーンペインティング、バルーンアートなど親子で楽しめるコーナー。夏休みの工作にもバッチリ。

### 青空アート展&インディアン住居体験

13:00~19:00 野外展示場

「素直な季もち」「砂山の思い出」と題したフォトエム展やインディアン住居「Tipi」を体験できます。

### フリーマーケット&バザーコーナー

13:00~19:00

夏のスタミナコーナーや和歌山ラーメン・カフェコーナーなどいろいろなお店がズラリ。青空フリーマーケットは60ブース(フリマは雨天中止)。

### ビッグホール・サマーイルミネーション

19:30~21:00

カラーライトアップショー。色とりどりに輝くビッグホールが夏の夜を彩ります。



木下伸市(18:00~ 予定)



FM802DJ マーキー(総合司会)



ウインズ(14:00~ 予定)



プライムシャワー(15:00~ 予定)



なまず(15:00~ 予定)



雅也(18:00~ 予定)



## wacaf 名作シネマ 懐かしの名作4本を上映

9/8(月)県民文化会館小ホール  
10:00~19:32 入場料¥500

今回は昭和20年代~30年代の名作を4本を上映。どれもレトロ感たっぷりの白黒画像で、今は見ることができない懐かしの大物俳優の名場面、傑作シーンが満載です。迫力あるスクリーンを通して、映画ならではの魅力をお楽しみいただけます。 演目が変更されました。

### 「生きる」(10:00~12:23)【1952年 東宝】

ひとりの中年男が、死という絶対的なものを目前にして自分を見つめ直し、人間としての尊厳を取り戻していく姿を描いた作品。主役の志村喬の「ゴンドラの歌」が感動的です。ベルリン国際映画祭で銀熊賞を受賞した名作。

### 「天国と地獄」(13:00~15:23)【1963年 東宝=黒澤プロ】

特急列車から身代金3000万円を投げ出す場面など脚本・監督の黒澤明の斬新な演出が見どころともいえるサスペンス映画。三船敏郎、仲代達也ら大物スターと共演した新人俳優・山崎努が一躍注目を浴びた作品。

### 「女の園」(15:30~17:47)【1954年 松竹(大船)】

良妻賢母の子女教育を旨とする名門女子大学を舞台にした作品。恋愛問題のこじれから学生が自殺を計り、それを契機に展開する学園の民主化運動は、学生運動を予感させるものが…。松竹のトップ女優・高峰三枝子、高峰秀子らが出演。

### 「野菊の如き君なりき」(18:00~19:32)【1955年 松竹(大船)】

小説「野菊の墓」が原作。数十年ぶりに故郷を訪れた老人の追想が信州の美しい自然を背景に回想形式で描かれます。この映画で表現した木下恵介監督の画面はシネマスコopならぬ「たまごスコop」と称されて話題になりました。

# 稲川淳二の「怪談ナイト」

## ～ MYSTERY NIGHT TOUR 2003 ～

8/11(月)

 県民文化会館大ホール 18:00開場 18:30開演  
 4000円(全席指定)


今年もあいつがやってくる……。"怖い話"の語り部として知られる稲川淳二が、自らの恐怖体験をもとに本当にあった怖い話を語る「MYSTERY NIGHT TOUR 2003」がいよいよスタート。身の毛もよだつ怪談話、そして数々の怪奇な体験を独特の口調で語る「稲川淳二の怪談ナイト」が、恐怖とともに和歌山にやってきます。

ビデオ映画のロケ現場で撮影された1枚の不思議な写真。ロケの舞台となったのは鹿島の歴史ある旧家。風格あるその屋敷では昔、打ち首などのお裁き(処刑)があったといわれます。そこでスタッフがロケの様態を撮影した写真に写る見慣れない赤いジャンパー。そこには見たこともない人のとても恨めしそうな顔がのぞき込んでいました。

「これは怖かったですね。やはり何か我々との間に介在していて、それがふっとした瞬間にその表情をあらわした...そんな写真ですね」と言う稲川淳二さん。公演では、これら彼の秘蔵心霊写真を一挙公開、会場の大型スクリーンに写し出されます。

まだまだある体験談。果たして今年は何んな怖い話を披露してくれるのでしょうか。真夏の夜、霊界の扉を少しだけ開けてミステリアスな世界をのぞいてみませんか。

### 稲川淳二さんにインタビュー

和歌山の印象はいかがですか？

番組のロケなんかでは何度もお邪魔してるんですけどね...  
暖かくてきれいな海もあってみかんもおいしくて、穏やかないいところですね。

「MYSTERY NIGHT TOUR」11年目にしてやっとお伺いできる事になって大変うれしく思っています。ホントに楽しみにしております。

ズバリ今回の見どころは？

毎年テーマというキーワードのような物を掲げて、その年のメニューを構成しているんですがね、今年はいよいよ核となるテーマを定めずネタを集めています。10年一区切りではないですが、改めて私の怪談の原点を見つめ直すような気持ちで今年は挑んでみたいなあと思ってるんですよ。

新しく集めたネタもあれば、ずっと以前からありはしたんですが、お話しする機会を逃していた怖い話もたくさんあるんですよ...。ですから、しいて今年のテーマを設けるとするならば、「稲川怪談の原点」とでも言えればいいんですかね...。「なぜかそこにいてしまったがために、恐怖に巻き込まれていく...」というようなお話をいくつかご紹介しようと思っております。

変化し続けている心霊写真が今年はどうなっているか...私とも楽しみをしています。

今年も身体の内面からぞお~っしてもらいますよ。毎年作り換えて

いる舞台美術も楽しみにして下さい。

和歌山のみなさんにメッセージを！

よく勘違いされるんですが、私のライブはね、決して怖いだけじゃないんですよ。といつてもご覧になられたことのない方にはおそらくわからないかもしれませんが、ライブ中は会場のあちこちで悲鳴あり、ため息あり、そして大爆笑ありの状況が交錯してるんですよ。

まず、嫌な後味を残して帰られる方はいらっしやらないんじゃないでしょうかね。

私の怪談はあくまでも娯楽なんです。

娯楽だからこそ楽しく怖がれるんですよ。

誰もがきっと子供の頃の思い出として残っていると思うんですが、夏休みに帰省先の田舎の家かどこかで、虫の声を遠くに感じながらおじいちゃんやおばあちゃんから聞かされた怖い話や不思議な話...

まさにあの状況なんですよ。

そんな感じで、気楽な気持ちでみなさん参加してくだされば、本当に嬉しいですよ。

稲川のおじいちゃんの話ぜひ聞きに来てください。

一人でも多くの方と時間を共有できればと思っております。



### イベントスケジュール

お問い合わせ Wacaf(073-436-1331)



#### ボヘミア・オペラ「椿姫」

9/4(木) 県民文化会館大ホール

12000円～3000円

世界中で最も知られたヴェルディの純愛オペラ「椿姫」は、まさにオペラの代名詞。けなげで一途な女性の愛の姿を描いたストーリーを、高い芸術性をもつチェコ国立ブルゼーニョ歌劇場が美しく演じます。音楽と歌、演技、美術が一体となった華やかなステージです。



#### 緊急速報

#### 南こうせつ コンサート

2/27(金) 18:30開演

県民文化会館大ホール 11月発売予定

S席5500円 A席4500円(全席指定)

第31回和歌山県新人演奏会  
個性あふれる音色を披露

9/15(祝) 13:00～  
県民文化会館大ホール  
500円

大学院、大学などで音楽を専攻し、平成13年度または14年度に卒業した人々による演奏会です。声楽、器楽、作曲、邦楽の各ジャンルでのオーディションを通過した新人演奏家たちが、それぞれの実力を発揮した自慢の音色を会場いっぱい響かせます。7月下旬発売開始

日露交歓コンサート  
本物の音楽に触れるひととき

9/23(祝) 15:00～  
県民文化会館大ホール  
無料(要整理券)

ロシアと日本の両国が協力して実現した、チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院による、質の高い音楽を披露するコンサートです。  
整理券申込受付開始7/28(月)、入場無料(要整理券・全席当日指定)  
※整理券1枚で2名まで入場可能 ※当日13:00より座席券引換を行います。

wacaf スペシャル ジャズコンサート  
山下洋輔 & 渡辺香津美 & 宮本文昭トリオ

10/22(水) 19:00～  
県民文化会館大ホール  
4500円

ピアニスト・山下洋輔、ギタリスト・渡辺香津美、オーボエ奏者・宮本文昭の3人によるジャズセッション。それぞれの個性を生かした息のぴったり合ったトリオによるジャズの醍醐味をたっぷり。ジャズ独特のグルーブ感を感じてみませんか。  
友の会優先予約: 8/1(金)～、一般発売: 8/6(水)～

劇団四季ミュージカル「アンデルセン」  
華やかなショーで彩る青春物語

11/25(火) 18:30～  
県民文化会館大ホール  
8400円～3500円

世界の童話作家アンデルセンの青春ストーリーに、有名な5つの童話を織り交ぜた、劇団四季の人気レパートリー。公演ごとにショーアップされ成長を続けている作品で、ジャズダンスの味わいとクラシックバレエの優雅さを楽しめるステージです。  
友の会優先予約: 8/22(金)～、一般発売: 8/29(金)～

## 限りなく故郷を愛する ESSAY

前田 朋子

1959年10月和歌山市生まれ。  
和歌山県立桐蔭高等学校、早稲田大学、丸紅（株）勤務を経て、現在は主婦・作家。小説推理新人賞、神戸女流文学賞で最終選考に、まんが&ムービーオリジナルストーリー募集では国際審査に残る。第2回ぶんりき大賞受賞。

### お国自慢と孫の自慢

そばで聞いていて嫌気がささない自慢話はこの2つだと言う。確かに、お年寄りが可愛い孫の自慢話をするのは微笑ましい。また、故郷の自慢話は、その土地への憧憬すらも聞き手のほうに抱かせる。

だから、この手の自慢は誰はばかることなくすばしい。なのに、どういうわけか和歌山人はお国自慢が苦手なようだ。県民性が謙虚なのだろうか。

しかし、それではいけない。もっと外に向かって故郷を語らねばならない。

私はミステリー小説という形で故郷の良さを語るべく、舞台を和歌山に設定している。

つまり、私のミステリーは言わば形を変えた“お国自慢”なのである。

和歌山を舞台にした小説を書いていると、「なぜ、そんなに和歌山が好きなのか」とよく聞かれる。その度ごとに「食べ物が美味しくて、自然が豊かで」と応え、勿論それは嘘偽りのない事実ではあるのだけれど、もっと端的かつ率直に理由を言うならば、やはりここが故郷だからだ。

中国の古詩に「胡馬北風に嘶き、越鳥南枝に巢く」というのがある。中国の南方にある越の国から来た鳥は故郷に近い南の枝に巢を構え、北方の胡の国で生まれた馬は北



母校・桐蔭高校の近くにある「無量光寺」の首大仏。首からの釈迦像は日本でもここにしかない。首から上のことなら何でも利益があるといっので、アイデアに詰まった時はここに来る。

風が吹くごとに故郷を慕っていななくという意味である。すなわち、自分の故郷が懐かしく忘れたいことを詠んでいるのだ。

この古詩の主意には、いたく共感する。が、私は越鳥や胡馬にはなりたくはない。望郷の思いを抱えて他郷で暮らさねばならぬ両者は何とも哀れではないか。そう思うがゆえに、私は故郷を離れない。離れずにいると、この土地への愛着はなおいっそう強まっていく。

愛着 そう、愛である。

ミステリーを書くのに欠かせないテーマは愛なのだ。

男女の愛、家族愛、友人間の愛と、さまざま形があるが、愛を根底にせずして事件の動機は生まれえない。ストーリーの中には必ず何らかの愛が存在する。それを描く以上、まず作者自身が愛に貪欲でなければならない。だからこそ、私は人一倍故郷を深く愛するのである。

## きのくに芸術新人賞・きのくに技能奨励賞 — 受賞者紹介

### 和歌山を題材に新しい小説を書きたい

「18歳で大学進学のため上京してから40年。故郷へは墓参りに帰る程度でしたので、受賞の知らせを聞いて何とも恥ずかしいというか、申し訳ないという気持ちが大きかったです」と喜びを話す山本さん。「子供の頃は夏になると毎日、紀の川で泳いでいました。イタズラをして学校の先生に叱られて。そんな風に遊んでいたことがよかったです」と、生まれ育ったかつらぎ町での思い出を振り返ります。

山本さんの作品は、時代物や現代物などバラエティに富んでいます。中でも松本清張賞に輝

きのくに芸術新人賞 作家 <sup>やまもと</sup>山本 <sup>おとや</sup>音也

いた「ひとは化けもんわれも化けもん」は「大型新人の誕生」と評されるほどでした。「自分の作品としては特異なものです。雑誌の編集長の仕事を退いて少し時間ができたので小説を出した。そしたら受かった。そんな感じです」とさうり。現在も勤務の合間に文筆活動を続けています。

「今後は和歌山を舞台や題材にした新しい小説を書きたいです。賞をいただいたお礼の気持ちを込めてね」。この言葉に、故郷での受賞が意義深いものだったことがうかがえます。



昭和19年かつらぎ町生まれ。18歳で上京。大学卒業後、雑誌社に編集者として勤務。「女性セブン」「週間ポスト」の編集長に就くなど多忙な勤務のかたわら余暇を利用して執筆活動に精励。昭和57年、池田章一の筆名で中央公論新人賞受賞。翌年は「退屈まつり」で芥川賞候補となる。平成14年「ひとは化けもんわれも化けもん」で松本清張賞を受賞。

## 劇団「華岡青洲」

### 世界的な偉業そして"人となり"を 多くの人に伝える演劇活動を展開

世界で初めて全身麻酔による乳ガン摘出手術に成功した医聖・華岡青洲。この偉大なる業績と、庶民のために積極的に取り組む姿勢が尊敬された青洲の人間性を、少しでも多くの人に知ってもらいたい。この思いを胸に、那賀町の主婦らで構成する劇団「華岡青洲」は、地元公民館や周辺市町村などの会場で数多く公演を開催、地域内外の人気を集めています。

### 発足から8年、地元周辺で公演

同劇団は平成8年度、和歌山県のきらめく女性支援事業の助成を受け、「きらめく那賀町女性の集い実行委員会」の演劇部門としてスタート。那賀町が世界に誇る華岡青洲の偉業と、その"人となり"を舞台で発表したのを始まりに劇団を発足させました。発足から8年目を迎える今年5月までに、地元小中学校や公民館、老人ホームへの慰問公演をはじめ、和歌山県立図書館や和歌山マリーナシティなどで40回近くもの公演を行っています。

平成13年には群馬県で開催された全国国民文化祭に県代表として出場しているほか、昨年は県の「ふるさと名人紀の人賞」を受賞、その活発な活動がたたえられました。

使用する脚本は、和歌山の著名作家・有吉佐和子のオリジナル脚本「華岡青洲の妻」に若干の変更を加えたものです。手術成功までの20年間、ひたすら難病に苦しむ患者を救いたいと願う青洲の情熱と麻酔薬を完成するまでの努力、その成功の陰にある家族の協力と自ら実験台となった母と妻の人間愛を描いています。現在は第3作目で、京都に遊学中の雲平（青洲の幼名）が留守のところに、母・於継に見込まれた加恵が嫁いで来るところから始まっています。



青洲が、京都から持ち帰った手術道具をお披露目する場面。団員らの熱演が観客をひきつけます



衣装や舞台道具など全て手作りの公演



群馬県で開催された国民文化祭に参加した団員のみなさん

### 地道な活動が実り広がる協力

30人前後の劇団員は町内の主婦たちで、全員が初めて演劇に取り組む素人です。団員は役づくりに悩むと、それぞれが同町に建設されている「春林軒（しゅりんけん）」に足を運び、青洲が偉業を成し遂げた背景や当時使われていた言葉、着物など演劇に必要な情報収集を行い、研究を重ねながら練習に励んできました。初回公演では演技を披露する余裕も無く、出演者の緊張が観客に伝わってしまうほどの舞台だったといいますが、公演回数を重ねるにつれ演技力も高まり、また観客らの温かい応援に支えられ、それに応えられるようにとさらに作品の研究に励むようになったといえます。

舞台衣装は出演者各自が持ち寄った着物。自分たちで研究したメイクで舞台に立ちます。また舞台の大道具や小道具は町内の古い民家から借りた昔のものを使うなどしています。町の青年たちによる音響の協力や、プロの美容師が髪結いの手助けをするなど町民らのボランティア参加も広がっています。今年は町内の美容室が寄付したカツラを使い、京都にある専門業者によって当時の髪型を再現した舞台用カツラを製作。これまでの紙のカツラから待望の本物に変わるなど、発足からの地道な活動が実り嬉しい協力を得ることができました。

同劇団の代表・北谷人美さんは「初めてのことばかりで苦労が多く試行錯誤ばかりの取り組みでした。公演のたびに応援してくださった地域の皆さんと、家族の支えによって団員の絆を固めながら頑張ってきました。毎月公演を開催したり、1日2回公演を行ったこともありました。その舞台ごとに団員全員が青洲先生の人間的な魅力をより深く感じるようになり、ひとりでも多くの人に那賀町の誇りである青洲先生のことを知ってもらいたいと思っています」と今後の演劇活動に対しても意欲満々。ますます活発な公演が期待されます。

■劇団「華岡青洲」TEL.0736-75-2586（平井さん）

### 華岡青洲

1760年、和歌山県那賀町平山に生まれ。長い苦心の末に、曼陀羅華（まんだらげ）の花を主成分とした6種類の薬草に麻酔効果があることを発見し、全身麻酔薬「通仙散」を完成。母と妻による人体実験という献身的な協力を得て、1804年世界初の全身麻酔による乳ガン摘出手術に成功した。華岡青洲の名は全国に知れ渡り、平山に医塾「春林軒」を設け、1000人以上の門下生を育てた。1835年死去（享年76歳）。「春林軒」は現在、那賀町に復元され、手術を再現したシーンや遺品などを展示している。

地元出身の  
演歌歌手

## 田川寿美さんと嶋三喜夫さんに聞く

NHK公開録画「BS日本のうた」が4月17日(木)、和歌山県民文化会館で開催されました。ステージでは田川さん・嶋さんはじめ多数の演歌歌手の方々がオリジナル曲やヒット曲などを熱唱、会場を訪れたファンらを魅了しました。



たがわ としみ  
田川 寿美

和歌山市出身。平成4年レコードデビュー、日本歌謡大賞や日本レコード大賞など数々の新人賞を受賞し期待の星として演歌道を歩みはじめる。現在までに数々の賞を受賞しているほか座長公演をはじめ数多くのコンサートなどを開催。平成13年には第43回日本レコード大賞で最優秀歌唱賞を受賞。

### 若い世代に新しい演歌を

— 演歌歌手になるきっかけは？

田川 両親が民謡や演歌などが大好きで、私は小さい頃からそれらを聞いて口ずさんでいました。

— 故郷は田川さんにとってどんなところですか？

田川 和歌山には15年間住んでいましたが、故郷を離れて初めて、その良さが分かりました。中学校を卒業して上京した時は、見るもの全て新鮮で刺激的、ワクワクすることばかりでした。困ったことは標準語に慣れなかったことぐらいです。デビューした翌日の平成4年4月2日、和歌山市民会館でコンサートを開きました。立ち見ができるほど多くの人たちが来てくれました。地元のステージで多くのファンの方を前に歌うのは、なんだか不思議な気がしましたが、とっても幸せなことでした。大勢の地元の方々の応援を大変ありがたいことだと身にしみて感じています。

— 今後、どんな活動をしていこうと思いますか？

田川 演歌という若い人に敬遠されがちなのですが、これまでの演歌のイメージにはこだわらない歌を歌っていきたくと思います。去年10月に発売した「女人高野」は和装に洋のデザインを取り入れた衣装で、曲風もロックテイストを盛り込んだものです。演歌は日本の豊かな季節や日本人の文化を表現した心の故郷だと思っています。それを今、若い世代の私自身が、新しい形で伝えていきたいですね。



### 和歌山をPRするような活動を

— デビューからこれまでの活動は？

嶋 16歳で歌手を目指して上京したのですが、断念してしまった経験があります。そして、いろいろな職業に就いた後、三橋美智也先生の付き人を15年ほどさせていただきました。三橋先生は、両親のいない私を息子以上にかわいがってくださいました。三橋先生が亡くなられて、さまざまな方の応援で平成9年に「山里ぐれ」で念願のデビューとなりました。満50歳でした。遅めのデビューということになりますね。

— 今回、生まれ故郷でのステージに立つお気持ちは？

嶋 私にとって和歌山は遠かったです。両親のいない私は福祉施設を卒業し、上京しました。歌手にならせていただいて、今回和歌山でこんな大きなステージに立つまで、40年ほどかかりました。施設にいたときの恩師も今日、会場に来てくださっていると思います。小学校から中学校までは歌が大好きな子どもで、特に三橋先生の歌はよく歌っていました。そんな私を知っている同級生たちが、38年ぶりに再会し、地元後援会をつくってくれたんです。大変うれしいことです。同郷の方々が応援してくれるので、頑張っでどんどん和歌山をアピールしていきたいですね。

— 今後の活動は？

嶋 この6年で、やっと歌手としてのスタートがきれえました。歌わせてくれるところを細やかに回っていきたくと思っています。大きな公演でなくても「手押し車を引いて…」みたいな感じでコツコツとがんばります。



しま みきお  
嶋 三喜夫

和歌山市出身。昭和53年から故・三橋美智也氏の付き人を15年間務める。自主制作作品「夜汽車は走る」が認められメジャーに転向、キングレコードに所属、平成9年「山里ぐれ」でデビュー。

## 個性が合わさったハーモニーを奏でる「コーラス・パレット」

### 県内外で幅広い活躍を展開

和歌山市を中心に県内外で活躍している女声コーラスグループ「コーラス・パレット」。コンサートの開催やコンクール出場など幅広い活動を行っています。

1枚の絵を完成させるとき、パレットに出された1つずつ違う色を使って仕上げていくように、自分たちもそれぞれの個性を輝かせながら素晴らしい作品をつくりあげよう。「コーラス・パレット」は、そんな思いを込めて1997年に発足しました。現在メンバーは45人。専業主婦や仕事をもつお母さんたち、独身者などそれぞれ考え方が違う20代～70代の幅広い年齢層の女性が集まっています。また音楽大学を卒業した人や全くの初心者など、メンバーの合唱の経験や音楽とのかかわり方もさまざまです。



今年2月にNHK大阪ホールで開催された第33回レディースコーラスフェスティバルに出演

練習は毎週1回、メンバーの生活の違いから午前と夜の部に分けて行い、さらに毎月1回は全員が声を合わせる合同練習を行っています。

結成後すぐ、「おかあさんコーラス大会県大会」で県代表に選ばれ全国大会に出場。今年も県代表として8月に滋賀県で開催される全国大会への出場が決まっています。またグループ主催のコンサートを2回開催しているほか、「和歌山市コーラスフェスティバル」や「県民合唱祭」、「レディースコーラスフェスティバル関西大会」にも毎年参加しています。

### NHK公開録画にバックコーラス出演

コーラスのジャンルはこだわりがなく、柔軟なスタンスで取り組んでいることから、プロのシャンソン歌手のコンサートでバックコーラスをつとめるなど出演ステージも多彩です。

4月17日（木）には、県民文化会館で開催されたNHK公開録画「BS日本のうた」にも地元コーラス団体として出演。プロの演歌歌手のオリジナル曲や民謡などの歌声が響くステージに、バックコーラスとして参加しました。今回で2回目の出演となり、当日は32人が参加。ステージで披露される歌を収録したテープを元にメンバーでパーツを分け、本番までの限られた時間で、バックコーラスとして必要な「歌手たちが望んでいることをつかんで、ソロを生かしていくこと」を重点にレッスン。本番ではその練習の成果を発揮しました。

グループの指導者であり指揮者の園村祐子さんは「公開録画はコンクールなどでのコーラスと違って、マイクを使ってミキシングされるので、私を含めメンバーに少し戸惑いもありましたが、ソロの声を引き立たせるよう頑張ることができたと思います。リハーサルを含め長い時間会場にいたのですが、プロの歌手の方々が観客の前で見せる“華”はさすがだと思いました。同じステージに立てて良い経験をさせてもらいましたし、とても楽しく歌うことができました」と話しています。

■コーラス・パレット TEL.073-472-3228 (代表・園村祐子さん)



プロ演歌歌手のバックコーラスとして華を添えるメンバーのみなさん



プロの指導のもと熱心に取り組む生徒ら（県民文化会館小ホールで）

演劇に関する本格的な指導を行うとともに、各校の部員同士の交流や演劇技術の向上を図っています。また講習会で習得したことは、毎

## 県内の高校演劇部が一堂に集う 夏期演劇講習会

県高等学校文化連盟演劇部会、県高等学校演劇連盟（21校加盟）は、毎年県内の高校の演劇部員が一堂に集う夏期演劇講習会を行っています。県文化振興財団もこの活動に対し、演劇研修セミナー事業の中で支援しています。約25年前から毎年開催されているこの活動は、近畿で活躍するプロの脚本家や俳優などを講師に招き、演

年秋に開かれる高等学校総合文化祭での発表作品や今後の演劇活動に生かされています。

今年度は5月30・31日、県民文化会館で開催され、約150人が参加しました。劇作家で演出家・ふじたあさやさんと、「劇団仲間」所属の女優・勝倉けい子さんが舞台作りの方法や演技、演出の方法などを指導しました。またワークショップやグループに分かれての作品作りなども実施。生徒らは他校の部員らと意見交換をしながら熱心に取り組みました。

同連盟の演劇部は学校内の活動だけではなく、地域の文化祭や体育祭への出演を行っています。今年も県民文化会館で開かれた高野・熊野世界遺産登録推進公演「オグリ伝説」に有志が参加し、好評を博すなど、様々な活動を行っています。

「ワカフ」とは、和歌山県文化振興財団(Wakayama Culture and Arts Foundation)の英字標記から採った名称で、当財団の行っている文化活動を広くみなさまに知っていただくために使用する名称です。より多くの方に知っていただくため、この文化情報誌も同じ「Wacaf」としました。「感動空間♥文化で元気!!」は経済不安から停滞ムードで閉塞感のある現代社会において、文化によって精神面から活力を取り戻し、「心ゆたかな」活き活きとした「真に生きる喜びを実感できる社会生活」を目指して「感動空間=心、みんなで文化に親しみ、共に元気になりましょう!」という意味のテーマです。

**けんぶんプレイガイド情報**  
**NHK交響楽団和歌山公演**  
 8/24(日)  
 和歌山県民文化会館(15:00開演)  
 S席:5500円 A席:5000円  
 B席:4000円 C席:3000円  
 (お問い合わせ)TEL.06-4860-8600(ハローダイヤル)



**県内催し物**  
**平成15年度きのくに移動芸術祭**  
**錦織健コンサート**  
 8/31(日) 橋本市民会館大ホール(14:00開演)  
 前売り:2500円(全席自由) 当日:3000円  
 (お問い合わせ)橋本市民会館 TEL.0736-33-6108

**特典いっぱいの特典**  
**「けんぶん友の会」に入会しませんか!**  
 ご入会いただいたその日から、県文化振興財団主催事業の割引料金適用や先行優先予約、電話予約ができます。また文化情報誌「Wacaf」を郵送いたします。入会金なし、年会費2,000円

**ご希望の方には送料実費でWacaf(ワカフ)をお送りいたします。**  
 Wacaf(ワカフ)は奇数月に発行し、各市町村・県内文化施設などで無料配布しています。また送料(90円切手)負担により郵送いたします。

【お申し込み・お問い合わせ】ワカフ(和歌山県文化振興財団)TEL.073-436-1331

**Present**  
 [ワカフプレゼント]  
 ご希望の方はハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、希望チケット名、文化情報誌「Wacaf」で最も良かったと思われる記事を記入のうえ、ご応募ください。  
 締切日 平成15年7月25日(金)必着  
 厳選な抽選により当選者を決定し、当選者には発送をもって発表にかえさせていただきます。  
 〒640-8269  
 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)  
 和歌山県文化振興財団(ワカフ)  
 「プレゼント係」

**ペア 3組**  
**稲川淳二の「怪談ナイト」**  
 8/11(月)  
 18:30~  
 県民文化会館大ホール



**ボヘミア・オペラ「椿姫」**  
**ペア 2組**  
 9/4(木)  
 18:30~  
 県民文化会館大ホール



**優秀映画鑑賞会**  
**ペア 5組**  
 9/8(月)  
 10:00~  
 県民文化会館小ホール



**第31回和歌山県新人演奏会**  
**ペア 5組**  
 9/15(祝)  
 13:00~  
 県民文化会館大ホール



**今年のアバロームは、和洋2つのバイキングが登場!**

**目線で料理人が実演します 海鮮できたてバイキング**

- 期間 平成15年7月3日(木)~8月30日(土)の間の木、金、土曜
- ★貸切営業は随時承ります(約40名様~)
- 時間 18:00~21:00
- 前売料金(カッコン内は当日) ※全て税込
- 食べ放題 大人3,500円(4,000円) / 小人1,500円(2,000円)
- 幼児1,000円(1,500円)
- ★フリードリンクチケット 大人1,000円(1,500円) / 小人・幼児共500円(1,000円)
- (生ビール・日本酒・赤白ワイン・チューハイ・ウイスキー・コーラ・ウーロン茶・ジュース)
- ★前売チケットを10枚ご購入毎に1枚サービス

毎年恒例のアバローム夏のバイキング。今年のテーマはお祭り! 料理人自らマグロやハモ、鰹などの鮮魚の料理をご提供します。

**ビールに合うメニュー続々登場! リーフビアバイキング**

- 期間 ~平成15年8月31日(日)
- 時間 17:00~21:00
- ※お席確保の都合上、なるべくご予約ください。
- 料金(前売、当日共) ※税別
- 食べ放題 & 飲み放題 大人(中学生以上)3,500円
- 小人(小学生)1,500円 / 小学生未満無料

気のおけない仲間とわいわい楽しみたいなら、ビアバイキングがオススメ。生ビールにその他充実のドリンクコースが飲み放題。ホテルのシェフによるこだわりのメニューも続々展開します。

**どっちを選んでも、満足することまちがいない!**

ご予約・お問い合わせは **ホテルアバローム 紀の国** 〒640-8262 和歌山市湊通丁北2丁目1-2 TEL.073(436)1200 http://www.avalorm.com

**季節のパーティー承ります。**  
 大切なお客様・ご友人と過ごすひととき心をこめてご用意いたします。

**フローラ&フロラリアから夏のパーティーコースをご案内**

**お一人様 2,500円・3,000円・3,500円コース (税別)**

上記コースに+1500円で飲み放題プラン(1時間30分)もご用意しています。

**同窓会・結婚式二次会にもご利用ください。**

ご予約・お問い合わせ (株) 県民文化会館レストラン(フローラ) Phone(073)436-0265(内線181)

